

## 事業報告書

一般社団法人 豊川青年会議所

2023年度 副理事長

豊川モデル創造グループ 担当

氏名 杉本有史



<本年度を振り返って>

本年度は副理事長を経験させて頂きました。昨年度受けた委員長の経験を活かし担当委員会の委員長、委員会メンバーの力になればと1年間活動してきました。自分が率先して行動していくことよりも、どうしたら委員長、委員会メンバーが楽しく活動できるか考え、ある意味裏方役でチームを牽引していく立場の副理事長。会社での自分の役割と重なる部分があり、大変勉強になりました。この経験を今後の社業にも活かしていければと思います。

<青春チャレンジチョイス委員会>

部活動の地域移行という難しい課題ですが、少しでも豊川市の子供たちのためになりたいという思いで一年間活動してまいりました。検討会議、SBGs EXPO など全4回の事業を通じ豊川市の現状を知ることが出来たと同時に、部活動の地域移行を推進していくには膨大な労力と継続した取り組みが必要だと感じました。この一年の活動の成果は、なかなか目に見えるものではないかもしれませんが、今回の取り組みが豊川市に合った部活動の在り方を見出すきっかけになったのではと感じております。豊川青年会議所の取り組みとしては本年度で一旦幕を閉じますが次年度以降も子供たちの未来のために部活動、スポーツを楽しめる環境造りに携わっていかれたらと思います。

<とよか WA で繋げる地球の輪委員会>

日本人と外国人が共生していく社会、地域造りは本年度だけではなく、過去にも青年会議所としてこのような課題解決に取り組んできました。しかし依然として課題解決に至っていないこの課題に対しどういったアプローチをかけていけば良いのか考えました。

今回の事業ではスポーツを通じた交流を実施しましたが目的達成の面では課題が残りました。一時的に互いが仲良くなることができても、継続した交流をしていくことは簡単ではないと改めて感じました。しかしこの一年の活動を通じ多くの外国人と交流出来たことでより一層外国人と共生することの楽しさを感じる事が出来ました。次年度以降も豊川市に外国人が住みやすいまちづくりに携わっていきたいと思います。

<むすびに>

4年前豊川青年会議所入会し、今年で卒業を迎えます。4年間の活動を通じ多くの仲間を支えられ成長する機会を与えて頂きました。一緒に苦楽を経験した青年会議所のメンバーは最高の仲間でありこれまでの活動は今後も私の人生において宝となる存在であることは間違いありません。

青年会議所の OB、現役の皆様、長い間本当にありがとうございました。そしてこれからも宜しくお願い致します。